



大安寺護寺会

編集・発行 大安寺護寺会広報部

恵庭市大町4丁目2番25号 大安寺内

TEL (0123) 34-1093

FAX (0123) 33-8005

ホームページURL <http://www.daianji.net>



「地蔵まつり」における梅花講によるご詠歌奉詠の様子

新年のご挨拶

大安寺護寺会 理事長 遠藤 昭雄

新年明けましておめでとうございます。

ご家族共々新しい年を迎えられましたこと、お慶び申し上げます。昨年は護寺会会員の皆様には、大安寺の諸行事に対しましてご参加いただき、又深いご理解とご協力を賜り、厚く感謝しお礼申し上げます。

さて、現代は少子高齢化の時代を迎え、憂うべき社会問題を抱えております。しかしながら、私達はお互いの支え合う心、社会に少しでも貢献出来る事の気概を持ちながら、自らが少しでも明るい前向きな気持ちで、日々を過ごす事が大切ではないかと考えております。

今年の干支は羊で、弱い動物とも云われていますが、実は知恵の深い動物なのです。干支にちなんで知恵を出し合って、今年一年を少しでも明るい年になる様、共に歩んで参りたいと思います。

今年一年護寺会会員の方々の幸せと、大安寺の発展を願ひ、お互いに敬愛の精神をもつて、ご協力賜ります様お願い申し上げます。

新年あけまして

おめでとうございます

会長 押見 俊 哉

副理事長 鏡 貢

総務部長 中 村 忠 司

会計部長 林 則 栄

運営部長 小 林 和 雄

広報部長 近 藤 春 夫

大安寺理事・地区幹事一同

平成二十七年 元旦



作・羽田野 収

檀信徒寄稿文

私の中の大安寺さん

天然仏 恵美子

(私についたニックネームです)

私はこの寺が大好きです。門前に対すると先ず両仏が迎えて下さり、ご本尊様が瞬時に思いをお汲み取り下さり、両親が兄達がそして今は娘が喜んでいます。この寺は私の中では家なのです。心の家なのです。魂の家なのです。

思えば母に連れられ初めて来た時、厳かな空気の中で耳にした太鼓、鐺鉦(シンバルのような楽器)、読経。「あ、これ知っている大好き」と、体の中の何かがスーと上方に引かれ、とても嬉しかったのを覚えています。読経が終わった後、昼ごはんのおいしかったのも覚えています。これらの体験が、私を寺好きにしてくれたと思います。

以前住んでいた所で、曹洞宗の各寺が持ち回りで、毎年酒井大岳師を招き、お茶会を開いて下さり、その中で心に残る言葉に出会いました。

「鬼面仏心。殺すなかれ殺させるなかれ。心に耳ある者は聴け、心に眼ある者は観よ。死生一如。」沢山ありましたが、特に心に魂に刻まれました。

これと同じく好きな詩もあります。

今日のあなたは

作者・谷口 恵美子

目の見えるあなた、今日はどのような美しいものを見ましたか。耳の聞こえるあなた、今日はどのような美しい音楽を聞きましたか。

口の利けるあなた、今日はどのように優しく話しましたか。歩くことの出来るあなた、今日は誰のために歩きましたか。ベッドで動けないあなた、今日はどなたに微笑みかけましたか。

私は、これが宗教だと思いました。こうありたいと思いました。これからも沢山お寺に行き、沢山の話を聴き、沢山の仏様達と出会いたいです。全ては縁なのですから…。

合掌

護寺会だより原稿募集のお願い

護寺会では、皆様方からの原稿を随時募集しておりますので、よろしくお願いいたします。採用された方には、粗品を進呈いたします。

- ・題材 私と仏様、お寺、仏教等との関わりについて
- ・原稿 原稿用紙一〜二枚(四百〜八百字)程度
- ・応募方法 郵送、FAX、Eメールにて

宛先

大安寺護寺会広報部

〒〇六一―一四二四 北海道恵庭市大町四丁目二番二十五号

FAX 〇一一三―三三―八〇〇五

Eメール: dianji@gol.com

あなたへのかもめくるが

「A賞当選五万円」?

チェックしてみてください! お寺からの案内ハガキ、昨年の「お盆経の案内」は、まだ手元にありますか? 引換期間は平成二十七年三月二日までです。A賞以外でも当たっていたら、急いで郵便局へどうぞ。

【A賞下五ケタ 二六四四六番】

梅花流ぐ詠歌講習会

渡辺 ミチヨ

十一月十七日（月）大安寺を会場に近隣の梅花流ぐ詠歌講習会が開催されました。年に一度教区内寺院を会場に教区の講員さんが一堂に集まり、本山から派遣された講師様から講習を受けます。この度は、十四ヶ寺一三五名の参加で、講師様は山形県善法寺住職駒林良仁師範で、明るく親しみやすい尼僧様でした。

私達は、毎年会場先のお寺で温かいおもてなしを受けていましたので、今回は自分達の番と、講員一同張り切って準備をしました。お寺中をピカピカに掃除し、会場を花で飾り、当日はお揃いのエプロンを付けて、お汁と各々持ち寄った沢山の漬物で、皆様をお迎えしました。

講習は大変分りやすく、和やかで笑いあり、あつという間に時間が過ぎました。全員揃って皆様をお見送りする時、自然と笑顔が溢れ、講員一同心一つに終えた幸せと大安寺講としての誇りを感じ、これからお仲間と共に詠道に精進していく事の思いを新たにしました。



ミュージカル「ブッダ」

を見てきました

駒沢大学附属苫小牧高等学校の開校五〇周年記念行事のひとつとして、「わらび座」によるミュージカル「ブッダ」が苫小牧市民会館で上演されました。

わらび座は一九五一年、秋田県に創立された、民族舞踊・太鼓・演劇など民俗芸能を中心としながら、多彩な表現で現代の心を描き、日本のオリジナルミュージカルを上演している団体です。

手塚治虫が一九七二年に発表し、二〇一〇年には『手塚治虫のブッダ』として、アニメ映画化された話題作なので、ご存知の方もおられることでしょう。

今回、初のミュージカル化の「ブッダ」の舞台から鑑賞の一端をご紹介します。

遙か古代のインドの国。シャカ族の国に生まれたシッダルータ王子。王子は「世の中は、なぜこんなにも不幸せと争いに満ちているのだろうか？」と悩み、「生きるってこんなに苦しくて怖いのだろうか？」と、答えを見つめるために国を捨て修行の旅に出た。

世の中は怖いけれど、生きるエネルギーにあふれ感動する出会い！戦いと分かれば！そして答えを探す王子の前に、故郷シャカ族の滅亡が迫っていた。

ミュージカルですから脚色されていますが、「生きる意味を問い、歩き続ける人間・ブッダの物語」として進行していききました。しかし、その姿は、二五〇〇年たった今も、苦しみながら現代を生きる私たちに生きる意味を強烈に問いかけてくる舞台でした。

一四人のキャストが、舞台いっぱい躍動感に満ちた見ごたえのある内容でした。

「新本尊」制作

進捗状況のご報告

住職 押見 俊哉

十一月二十五・二十六日に愛知県長久手市の江場仏像彫刻所を訪問し、現在の御本尊さまの制作進捗状況を視察して参りました。

大安寺では、平成二十八年九月の両祖報恩法要において奉納された新本尊さまの開眼法要を予定しております。

大安寺の本堂にこの大きな三体の本尊様が奉納されるまで、二年を切ったこととなります。

写真にあるのは「お釈迦様」と「迦葉尊者」かしようそんじゃになります。

これから彫られるのは「阿難尊者」あなんそんじゃです。

これからお釈迦様には光背が取り付けられ、金箔が貼られて彩色がなされます。迦葉尊者はまだ荒削りの段階ですが、阿難尊者と共に今年は大きく作業も進むことでしょう。
江場琳鬘・琳観両仏師えばりんこう りんかんには、魂を込めて彫っていただいております。

これから私共をお守り下さる本尊様を、しっかりと迎えたいと思います。檀信徒の皆様には、御本尊奉納への奉賛金にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

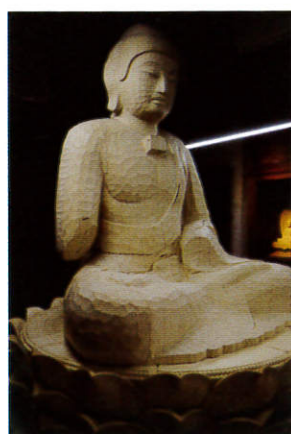


住職と新御本尊さま

かしようそんじゃ
迦葉尊者像



釈迦如来坐像



くお寺からの お知らせく

護寺会総会

平成二十七年大安寺護寺会総会が、理事及び地区幹事により一月三十一日に開催されます。会員の皆様には後日、総会の結果についてご報告いたします。

「月忌参り」のすすめ

ご家庭のお仏壇の前で、毎月一回のご先祖様・愛する方への月命日のお参りにお寺から伺います。新たに月命日をご希望の方は、お寺までお申し込み下さい。

新本尊「奉賛金」のお願い

大安寺の新本尊を平成二十八年にお迎えいたします。信仰の拠り所となる大安寺で最も大切な本尊様です。

檀信徒皆様の総意でお迎えすべくお力をお貸し下さるようお願い申し上げます。詳細は今回同封しました趣意書をご覧ください。

「永代供養」のご案内

大安寺ではご先祖様の永代供養を行っております。

お寺にはお墓やお仏壇の継承についての様々な悩みが寄せられます。

その悩みを解消するための答えを大安寺では用意しております。どうぞお気軽にご相談下さい。

「写経・坐禅のつどい」

平成二十七年度も「写経のつどい」「坐禅のつどい」を行います。日時については、三月頃の郵送物の中でお知らせします。どうぞお気軽にご参加下さい。

「婦人会・御詠歌」 お仲間募集

お寺のための活動を通して、仲間作りと自己研鑽のためにご参加してみませんか？お気軽にご相談下さい。

次号護寺会だより十四号は
平成二十七年八月頃の
発刊の予定です。